

雇用問題の取り組みは？



大木 義正 議員

求人開拓と助成事業に努める

雇用対策について

大木 100年に一度と言われる経済不況に対し、国や県は臨時雇用対策として、いくつかの施策を打ち出しているが、町独自の雇用対策はどのように考えているのか。

町長 町独自の雇用対策として昨年12月から、産業振興課内に無料職業紹介所を開設し、きめ細かな紹介等に努めておりますが、求人登録が少ない状況であり、今後は更なる求人の開拓に努める考えであります。また、21年度の町単独の雇用対策として、労働者の雇用安定を図るため、企業が休業等により活動を縮小した場合に、交付された国の雇用調整助成金に対し、30日を限度として5%を上乗せ補助する助成事業を新規に制定することに致しました。



求人相談のようす

中学校 改築について

大木 町の財政危機と未曾有の経済不況の中で、平成22年度からの中学校建設については、多くの町民が不安を抱いている。今後の経済状況を見極めて町民の不安を払拭してから建設に着手するのも選択肢の一つであると思うが、町長の考えを伺いたい。

町長 中学校建設について

必要な財源の裏付けを図りながら、子供達の安全安心のため早期実現を目指していきます。財政再建3カ年計画の取り組みも2カ年を経過し、おおむね目標とする効果額が出ており、実質公債比率も25%を下回ることができました。合せ27年度には18%以下となる見込みです。昨年改めて実施した耐震診断につきましても倒壊の危険性が極めて高いとの結果が出ていることから、適切な教育環境を早期に整備したいと考えております。

建設工事 入札について

大木 総額約31億円余りの事業費の予定である中学校建設に当って、町内業者が仕事にたずさわれる事が望ましいと考えるが、地元業者が参加しやすい入札方法をどのように考えているのか。

町長 中学校建設は巨額の経費を投資する事業でありますので、町の経済活性化の観点からできる限り多くの町内業者がかかわれることが望ましいと考えております。なお、工事の発注に際しましては町民の方々や議員の皆様方にも十分に理解を得た上で、具体的な入札方法につきましても検討してまいりたいと考えております。



矢吹中学校

町政を問う



青山 英樹 議員

矢中建設、説明責任と合意形成は！

継続的な説明会開催

矢中建設、説明責任と合意形成はなされたか？

青山 まちづくり懇談会は町内4会場に町民約80名（議員出席者を除く）の出席数でしかなかった。また、各地区総会での行政報告も30分という短い時間ではなく、十分な質疑応答もなされなかった。結果、矢中建設に関し町民への十分な説明責任を果たし、かつ合意を得たとの判断に至っていないのかを伺いたい。

町長 平成21年度から実施設計に着手することについては、2月に開催したまちづくり懇談会や各地区の行政区総会等で説明させていただきました。今後はPTA関係者の説明も予定しております。これまでに町民の皆さんからいただいたご意見は、すべてが町の計画に賛成ではありません。それらの中には、中学校建設の早期実現をしながら、住民サービス水準の安定的な確保ができるのかと心配



各地区で開催された懇談会

されるご意見等もいただいております。しかしながら私の公約として、今後も説明会等を開催し、継続的な説明を行い、より多くの町民の皆さんのご理解をいただくよう努めてまいります。

週一便の福祉バス。広報による活用増の検討を！

青山 少子化が進む一方で高齢者の要支援、要介護者は増加の傾向にある。それらの中には交通手段がなくて困っている人も少なくないのが現状である。現在、町健康センター行きバスが週一便運行されているとのことだが、より多くの高齢者に広報したり、様々な要望を把握して運行回数を増やすとか運行時間帯等を再検討して頂きたい。

町長 福祉バス運行につきましては、平成18年度末に利用者の減少等により廃止いたしました。主な利用者は健康センターを利用している方々でありましたので、翌年度より週一回ではありますが、木曜日に健康バスとして存続しております。障害者や高齢者等、交通弱者の生活の利便性をとこのことですが、現在運行している健康バスを利用していただければと思います。



現在週1便の健康バス

あゆり温泉で約3時間の待ち時間がありますので、温泉利用とあわせて買い物等もできるのではないかと考えております。有料化によるバス運行となりますと、町には営業ナンバーの車両がありませんので、実施を考えますと車両購入と運転手の配置、あるいは民間委託等、今後の実施の是非を含め慎重に対応してまいります。現在週一回の健康バスですが、今後の利用状況を見ながら運行回数についても検討してまいりたいと思います。